



# まつざき

2012  
(平成24年)

1

No.572



迎春

朝日に染まる富士山(雲見漁港)

# 謹賀新年



松崎町長  
齋藤 文彦

町民の皆様には、輝かしい平成24年の新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

日頃から、行政全般に対し、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、「ふるさと自然体験学校」推進のため、国が取り組んでいる「子ども農山漁村交流プロジェクト」を活用し、地域資源を活用したグリーンツーリズム体制の基盤整備を図ってきました。さらに、県内の行政、賛同企業団体と農の理想郷づくりを指す「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」を進めてきました。今年、これらの事業を一層推進し、松崎町のシンボルテーマとしてきた「花とロマンのふるさとづくり」の集大成として、「日本で最も美しい村連合」への加盟を目指していきたいと思えます。この連合に加盟するためには審査がありますが、認定されることによって、観光付加価値を高め、地域資源の保護と地域経済の発展が見込めます。

町民の皆様におかれましても何卒、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この一年が皆様にとって幸多き年でありますようご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。



町議会議員  
齋藤 重

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい平成24年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より、議会運営に対し、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は未曾有の東日本大震災による災害に心を痛めた年でありました。一日も早い復興を願わずにはいられません。

一方、町の状況に目を転じますと、統一地方選挙により選ばれた新たな町議会議員により議会活動がスタートした年でもありました。

新年を迎え、全議員が議会としての役割・職責を再認識し、町民の皆様から与えられた信託と期待に添うべく、努力して参る所存でございます。

本年も、町議会に対しまして昨年にも増して温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念し、年頭の挨拶といたします。



消防団長  
中村 一夫

平成24年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

皆様方には平素より防火防災への深いご理解と、消防団に対する格別のご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、町内では、大きな火災、災害もなく過ごすことができました。

しかし、東海地震の切迫性が叫ばれているこの地域では、3月11日に発生し、東北地方に甚大な被害をもたらした東日本大震災は、他人事ではなく、地震に対する備えと、消防団員の安全管理について考えさせられる年となりました。

我々消防団を取り巻く環境は、少子高齢化による団員の減少など、ますます厳しくなっておりますが、今後も町民の負託にこたえる消防団づくりに精進していく所存です。

町民の皆様におかれましても、自主防災組織を中心とした防火防災対策に努めていただきますようお願い申し上げます、新年の挨拶といたします。

# ～これからのまちづくりを進めるための指針～

## 松崎町第5次総合計画策定にあたり実施したアンケート結果をお知らせします。

町は、平成25年度から34年度までの第5次松崎町総合計画を策定するため、昨年8月に町民1,500人（無作為抽出）を対象としたアンケート調査を行いました。この調査は、町民の生活意識をはじめとするまちづくり全般、町政運営等に対する評価・意見を把握し、今後の魅力的なまちづくりを進めるための計画づくりに反映することを目的に実施しました。主な結果についてお知らせします。

### 回収結果

調査数	1,500件
回収数	685件
回収率	45.7%

### まちの活力づくりについて

※各設問は、複数回答になっています。  
※各設問の回答上位を掲載しています。

●松崎町に若者が定住するために、何が特に重要と考えますか。

項目	回答数	割合(%)
働き口（職場）の確保	633	92.4
住環境の整備	133	19.4
買い物等生活の利便性の向上	131	19.1

●安全なまちづくりへの取り組みで、何が特に重要と考えますか。

項目	回答数	割合(%)
災害対策としての防災基盤の整備	495	72.3
的確な情報提供や緊急時の体制強化	346	50.5
水道電気などのライフラインの整備	105	15.3

●少子化に対応するために、何が特に重要と考えますか。

項目	回答数	割合(%)
医療費助成などの補助の充実	314	45.8
子育て支援サービスの充実	304	44.4
育児休業制度など就業環境の整備	175	25.5

●町民と行政が協働して新しいまちづくりを進める取り組みで、何が特に重要と考えますか。

項目	回答数	割合(%)
町の施策・事業に関する情報を積極的に公開する	382	55.8
町民・地域の意見を聞く機会を充実させる	347	50.7
地域活動団体同士の交流促進や研修を行う	152	22.2

●高齢者にいきいきと生活してもらえるまちになるために、何が特に重要と考えますか。

項目	回答数	割合(%)
生きがいのもてる趣味の場や職場の整備	269	39.3
介護予防・介護保険サービスの充実	264	38.5
孤立化を防ぐための体制	246	35.9

### まちの将来像について

●今後、松崎町には、どのようなまちになってほしいですか。

項目	回答数	割合(%)
病院など医療機関が充実したまち	328	47.9
自然が豊かなまち	267	39.0
観光が盛んなまち	261	38.0
福祉（高齢者・障害者など）が充実したまち	215	31.4
子育てがしやすいまち	158	23.1
農林漁業が盛んなまち	108	15.8
学校教育の充実したまち	80	11.7

アンケートにご協力いただきありがとうございました。この他の結果は、町のホームページおよび図書館で閲覧できますのでご覧ください。

【問合せ】企画観光課（42）3964



スタート

祝町の部6位入賞

第8区 高見育美さんと  
第11区 石田和也さんが

町の部・区間賞を受賞

県内35市町、39チームが参加した  
スキをつなぐ、第12回静岡岡部市町対  
抗駅伝競走大会が、12月3日(土)、  
静岡市を舞台に開催されました。

大会当日は、スタート直後まで雨  
が降る悪天候の中、選手たちは練習  
の成果を十分に発揮し、昨年の記録  
を1分20秒縮める好記録でゴールし  
ました。

結果は、チーム念願の初入賞とな  
る町の部6位、第8区を走った高見  
育美さん(松崎中1年)と第11区を  
走った石田和也さん(東洋大3年)  
が、区間賞を受賞しました。

町民の皆様には、練習から大会当  
日まで、あたたかい応援をいただき、  
ありがとうございました。

【問合せ】  
教育委員会(42) 3971



1区⇒2区



2区⇒3区



ゴール

松崎町チーム 大会記録

区間	氏名	距離	記録	区間順位 (町の部)	チーム順位 (町の部)
第1区	ジュニアA(女子) 山本 佳穂	3.974km	14分46秒	8位	8位
第2区	小学生(男子) 青木 稜	1.848km	6分31秒	8位	8位
第3区	小学生(女子) 船津 有里	1.469km	5分50秒	12位	9位
第4区	一般(女子) 田中 真沙美	3.549km	13分32秒	7位	9位
第5区	ジュニアA(男子) 船津 弘貴	6.061km	19分48秒	6位	9位
第6区	40歳以上(男女不問) 佐藤 文彦	4.340km	14分22秒	2位	7位
第7区	中学生(男子) 関 俊也	3.760km	12分42秒	8位	7位
第8区	中学生(女子) 高見 育美	3.020km	10分50秒	1位	6位
第9区	ジュニアB(女子) 平野 文珠	4.670km	16分56秒	3位	6位
第10区	ジュニアB(男子) 石田 達也	4.310km	14分36秒	8位	6位
第11区	一般(男子) 石田 和也	5.194km	15分16秒	1位	6位
総合記録			42.195km	2時間25分09秒	6位



表彰式



松崎町代表チーム

# 第28回 松崎町史跡めぐり駅伝大会

## 町内の史跡をめぐる小・中学生49チームが力走

### 各部門の優勝チーム



〈小学生男子〉8時だよゴリラ集合！  
3分8秒15



〈小学生女子〉ポラリス2  
4分4秒07



〈中学生男子〉男子バスケ部A  
3分3秒59



〈中学生女子〉陸上部女子  
3分8秒49



【問合せ】  
教育委員会（42）3971

第28回史跡めぐり駅伝大会が、12月11日（日）、松崎港をスタート、松崎小学校をゴールとする5区間、9・77<sup>キ</sup>のコースで行われました。

今回は、大会史上最多となる49チーム（小学生の部に12チーム、中学生の部に37チーム）が参加しました。

当日は、天候にも恵まれ、選手たちは、重文岩科学校、沢谷城跡など町の歴史にかかわる地点を中継するコースでタスキをつなぎ、ゴールを目指しました。

大会結果は、次のとおりとなり、区間新記録を3人が樹立しました。

### 区間賞

区間	部門	氏名	チーム名	学年	記録	
第1区 (2,100m)	小学生	男子	青木 稜	8時だよゴリラ集合！	6年	7分41秒
		女子	佐野 春奈	ポラリス2	6年	8分34秒
	中学生	男子	関 俊也	野球部A	3年	6分41秒
		女子	平野 文珠	陸上部女子	2年	7分11秒
第2区 (1,750m)	小学生	男子	山田 恭士朗	のろのろチーム5年	5年	6分40秒
		女子	山田 陽菜	ポラリス2	6年	8分19秒
	中学生	男子	天野 潤	陸上部男子A	3年	5分43秒
		女子	渡邊 圭子	女子バスケ部A	3年	7分10秒
第3区 (2,070m)	小学生	男子	佐藤 寿紀	のろのろだんごろむし	5年	7分43秒
		女子	鈴木 菜緒	TANRIN5	5年	9分18秒
	中学生	男子	大場 勇作	男子バスケ部A	2年	6分35秒
		女子	高見 育美	陸上部女子	1年	7分17秒
第4区 (1,850m)	小学生	男子	松本 文典	ムッチーズ	6年	7分15秒
		女子	鈴木 彩加	ポラリス2	6年	7分57秒
	中学生	男子	齋藤 真之介	男子バレー部A	2年	6分19秒
		女子	佐藤 朱莉	女子バレー部A	2年	7分36秒
第5区 (2,000m)	小学生	男子	土屋 航平	のろのろチーム5年	5年	7分37秒
		女子	土屋 あいか	TANRIN5	5年	8分47秒
	中学生	男子	藤井 玲輔	男子バレー部A	2年	6分50秒
		女子	山地 玲子	陸上部女子	3年	7分27秒

■は区間新記録

# 20歳から国民年金スタート!

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、保険料を納めることになっていきます。

国民年金や厚生年金に加入すると基礎年金番号が記載された年金手帳が交付され、加入記録や保険料の納付状況などがこの番号で管理されます。年金手帳は、年金に関する手続きの際に必要となりますので、大切に保管してください。

## 国民年金の免除・猶予制度

学生の方や収入が少なく、国民年金の保険料の納付が困難なときには、免除・猶予制度の申請をお勧めします。  
**学生納付特例制度**  
 大学、短大、専門学校等に在学している学生で、本人の前年所得が118万円以下の方が申請できる制度です。

(国民年金は3つのグループがあります。)

被保険者の種類	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
対象者	自営業、農林漁業者、無職、学生などの20歳以上60歳未満の方	厚生年金・共済組合に加入している会社員・公務員などで70歳未満の方	第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の妻(夫)
加入手続き先	市区町村の国民年金担当窓口	勤務先	配偶者の勤務先を通じて
保険料	日本年金機構から送付された納付書または口座振替	国民年金保険料は厚生年金・共済年金の保険料に含まれます。	個人で納める必要はありません。配偶者の加入している年金制度が負担します。

在学期間中の保険料を社会人になってから納めることができ、承認期間は4月(または20歳誕生月)から翌年3月までです。

### 若年者納付猶予制度

30歳未満の方で、就職が困難または失業などの理由により、保険料納付が困難なときに利用できる制度です。

本人、配偶者の所得によって審査され、保険料の納付が猶予されます。承認期間は7月(または20歳誕生月)から翌年6月までです。

### 保険料免除制度

所得に応じて全額免除、4分の1免除、半額納付、4分の3納付の4段階に分けられ、承認期間は若年者納付猶予制度と同じです。

※納付特例や納付猶予、免除が承認された期間は、保険料を納めた場合と違い、将来の受給額が満額にはならないため、追納(さかのぼって納めること)をお勧めします。

### 【問合せ・ご質問】

- 三島年金事務所 055(973)1444
- 健康福祉課保険年金係 0558(42)3966

# 松崎文芸

俳句

人々の家路を急ぐ師走かな  
 小走りに師走の背遠ざかる  
 床屋出て軽く背伸びし十二月  
 下戸なれど今宵は酔はん年忘れ  
 天城嶺の夕日に照りぬ雪迎え  
 女房とワイン注ぎ合ひ年忘れ  
 極月や伊豆の山々色付きて  
 小盃あげても独り年忘れ  
 同窓のなでしこ三人年忘れ  
 年忘れ歌って踊って茶碗酒  
 虹の郷童にかへり冬うらら  
 遠きよりご近所が良し年忘れ  
 忘年や十二束ねる月刊誌  
 忘れ思はぬ人の隠し芸  
 良き事を一つ想ふて年忘れ  
 買物の店に賛美歌十二月  
 書込みの多き茶の間の古暦

- 山本武男
- 小林忠男
- 小林一男
- 佐藤享
- 細矢金治
- 山本一詞
- 石田宏
- 稲葉文字
- 依田ふじ枝
- 稲葉菊恵
- 土屋規矩子
- 吉岡うた子
- 夏目和子
- 鈴木すみ江
- 清水高子
- 松田美智子
- 斎藤みつ子

## ふるさと納税へのご協力ありがとうございました

昨年に引き続き、伊豆市にある西伊豆眼科クリニックより、松崎町から多くの患者さんに来ていただいているお礼の気持ちを込めて2件、110万円の納税をしていただきました。

- 大高 功 様 (伊豆市在住)  
 金額 100万円  
 西伊豆眼科クリニック院長
- 鄭 守 様 (京都市在住)  
 金額 10万円  
 西伊豆眼科クリニック医師

# ～まちのできごと～

## 11/29 第1回自然薯品評会



環境センターでは、自然薯の栽培技術や品質の向上などを目的に自然薯品評会が開催されました。出品された27点を審査し、金賞には山本太美雄さん（峰区）が選ばれました。

## 12/9 松崎港ポートサポーター認定式



環境センターでは、松崎港の管理者である下田土木事務所が、同港で美化活動などに取り組む「松崎ポートクラブ」（端山晋一代表）を県内で初となるポートサポーターに認定しました。

## 12/6 津波対策講演会



環境センターでは、富士常葉大学の阿部郁男准教授と静岡大学の原田賢治准教授を講師にお招きし、東日本大震災を踏まえた今後の津波対策などについて講演が行われました。

## 12/14 松崎中学校「夢ロマンカレンダー」を配布



松崎中学校生徒会が中心となって、毎年製作している「夢ロマンカレンダー」が完成し、生徒たちは2～3人のグループに分かれ、一人暮らしのお年寄りや高齢者世帯を訪ね、手渡しました。

## 第12回しずおか市町対抗駅伝

12月3日（土）、静岡市を舞台に県内の全市町が参加し、ふるさとの誇りをかけてタスキをつなぐ第12回しずおか市町対抗駅伝が開催されました。

大会当日は、県庁前を一斉にスタートし、雨の降る気温の低いコンディションの中、ゴールを目指しました。

閉会式で実行委員の挨拶

にもありました。この大会は、チームへの参加条件が各市町に居住、または勤務している方や出身者になるため、当然ながら人口の多い市町や企業などが集中している東海道沿線のチームが有利になります。

こうした状況の中、人口最少の町が他の強豪チームと競い、町の部6位に入賞する姿に感銘を受けました。

さらに、第8区の高見

## 町長室からこんにちは ②5

育美さん、第11区の石田和也さんが町の部区間賞に輝いただけでなく、第6区の佐藤文彦さんが区間2位、第9区の平野文珠さんが区間3位となり、町の底力の強さを感じました。

代表選手が、こうした大きな舞台で健闘できたのも、平成16年から8年間にわたって監督を務めていただいている土屋武彦さんの熱心な指導によるものだと思います。

松崎町選手団の活躍は、テレビやラジオ、新聞などを通じて応援していた町民の皆様にも多くの感動を与えたことと思います。

町の念願だった初入賞を果たした選手団ならびに関係者の方たちに深く感謝するとともに、次回大会でのさらなる健闘を祈念いたします。

松崎町長  
齋藤 文彦

### 町の人口と世帯

(平成23年11月30日現在)  
( )内は前月比

総人口	7,839人	(-7人)
男	3,705人	(-3人)
女	4,134人	(-4人)
世帯数	3,111戸	(-5戸)
転入	10人	転出 16人
出生	7人	死亡 8人

### 町の交通事故

平成23年11月発生分

( )内は前年同月比

人身事故	1件	(-2)
物損事故	9件	(-4)
死者	0人	(±0)
傷者	1人	(-2)

### 戸籍だより

(11月届出分)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
道部	稲葉 みよ	92	克 巳
大澤	土屋 福男	67	シゲ子
江奈4	吉長 達男	59	知 也
指川	川口 一子	91	太工門
江奈2	山田 つね子	92	俊 作
東区	大石 さと	80	道 雄
小杉原	山本 玉枝	86	保

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
宮内	紅 華	女	土屋 智揮
伏倉	優 奈	女	小林 真輝
指川	涼 晴	男	石田 光太郎
江奈1	宙 良	男	渋谷 弘明
江奈2	蓮	男	高橋 博紀
北区	悠 太	男	小嶋 敦人
江奈1	遼 真	男	福本 雅洋

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

### 保健師だより

#### 薬を上手に服用しましょう

皆様は、薬を利用していますか。中には、日常的に高血圧症・脂質異常症・糖尿病などの生活習慣病で薬を飲まれている方もいると思います。

薬を服用する上で、まず大切なことは、自分がどのような薬を使っているのか正しく把握しておくことです。できればお薬手帳などを用意して、いつだれが見てもわかるようにしておくことで、複数の医療機関を受診するときや災害などの緊急時にも役立ちます。

また、町の特定健診などを行うと、薬を正しく服用していなかったり、生活習慣を全く改善していなかったりするため、薬の効果が十分発揮されていないと思われる方が見られます。

薬だけに頼るのではなく、あわせて生活を改善することも大切です。

ただし、薬は反対から読むとリスク(危険)とも読むことができます。効果がある一方で、まれですが体によくない影響を与える場合もあります。使用中に異変を感じたら、自己判断せずに医療機関を受診しましょう。

普段は薬をあまり使わないという方も、家の救急箱にある常備薬について、定期的に使用期限を確認し、いざというときに備えましょう。

### 姉妹都市通信

#### 帯広市開拓130年市制施行80年

帯広市は今年、晩成社が入植してから130年、昭和8年に市制施行されてから80年の節目を迎えます。

今年、記念式典など開拓130年市制施行80年の記念行事がいろいろと予定されています。

広報おびひろ1月号でも、帯広市開拓130年市制施行80年を紹介しています。この広報の製作過程でどのように130年を皆様にお知らせしようかと考えたときに、新たな年の幕開けを表現しようと朝日の写真撮影に挑戦しました。朝日の写真は、帯広市内で一番高い建物である帯広市役所の屋上(地上52・2メートル)から撮影しました。

減多に立ち入ることのできない市役所の屋上から見ると、帯広の中心市街地の街並みは、ビルや店が立ち並び、道路も東西南北に真っ直ぐに伸び、外灯の灯りが夜明け前の街を照らしていました。

そして、遠くに見える地平線から昇る朝日がとても美しく幻想的で、原野だったこの地が今の街並みになるまでを思い巡らせながら、シャッターを切りました。

明治16(1883)年に依田勉三翁が率いる晩成社が、先住民であるアイヌが住むこの帯広の地に開墾のくわを入れてから130年。これまで、先人たちが高い理想と情熱で多くの苦難を乗り越えて、東北海道の拠点都市として基盤を築いてきました。

かつて依田勉三翁が残した開拓の精神は、今も多くの人々に引き継がれています。



夜明け前の帯広市肉と  
広報おびひろ1月号の紙面